



記者発表資料

(県 政)



提供年月日：令和4年(2022年)9月6日
部 局 名：知事公室
所 属 名：広報課
係 名：県民の声係
担 当 者 名：中村、堀口
連絡先(内線)：077-528-3046 (内線 3046)

第55回滋賀県政世論調査単純集計結果<速報>について

本年7月から8月に実施した県政世論調査の単純集計結果を取りまとめましたので、速報としてお知らせします。なお、今回の数値は「速報値」であり、後日(10月予定)報告書により公表するものが確定値となります。

※添付資料について四捨五入の関係上、各選択肢の百分率(%)の合計が100%にならない場合があります。

1. 調査のあらまし

- 調査対象： 県内在住の満18歳以上の個人
標 本 数： 3,000人
調査時期： 令和4年7月11日(月)～8月1日(月)
調査方法： 郵送法・オンライン調査法の併用
調査項目： (1)県政全体に関する満足度について(企画調整課)
(2)県の広報・広聴活動について(広報課)
(3)子ども・若者の支援について(子ども・青少年局)
(4)こころの健康について(障害福祉課)
(5)県政に関しての意見(広報課)

2. 調査票回収結果

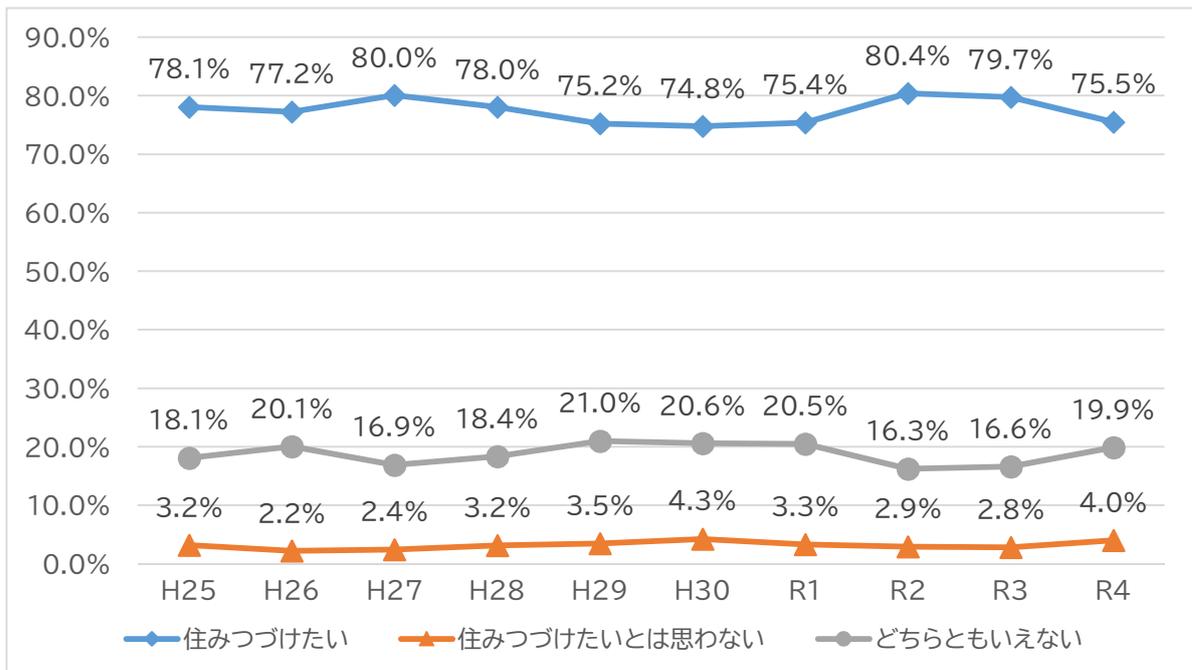
- 有効回収数(有効回収率) 2,034人(67.8%) 【 R3 50.6% R2 56.1% 】
- 有効回収数(郵送+オンライン)に占めるネット回答の割合 39.1%
【 R3 30.4% R2 16.3% 】
- 回答者の年代別
18～19歳：3.2% 20～34歳：18.1%
35～49歳：23.9% 50～64歳：27.7%
65～74歳：22.2% 75歳以上：4.6%
不明・無回答：0.4%

3. 主な集計結果

◆ 県政全体に関する満足度について

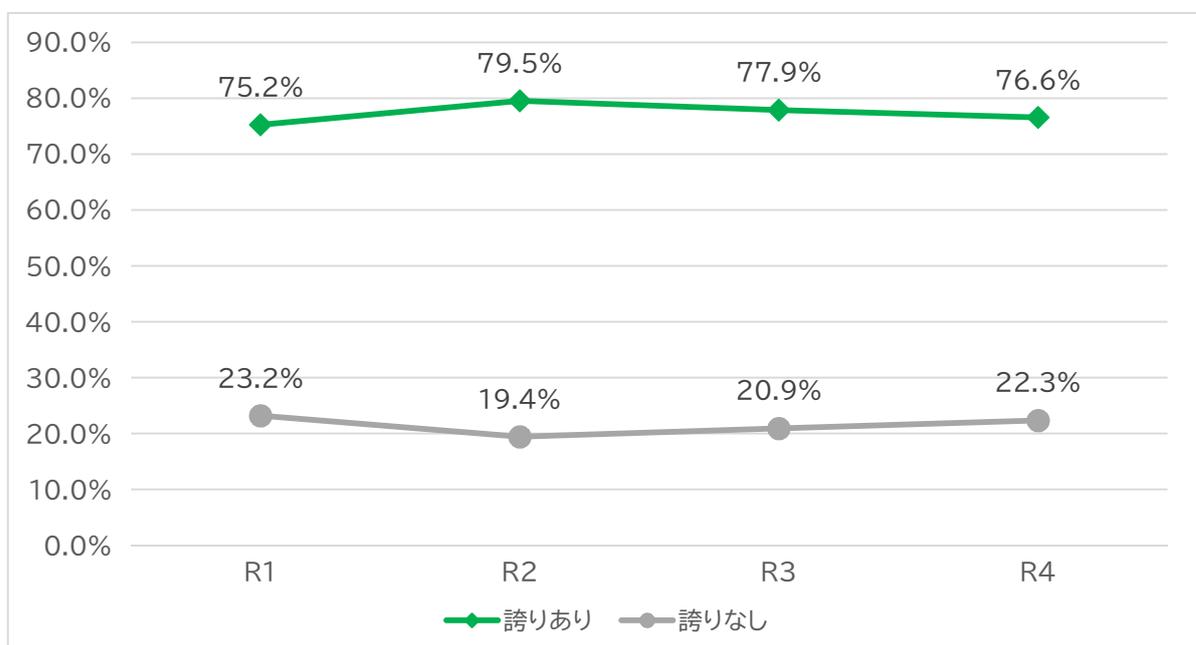
○ 定住意向

「住みつづけたい」と答えた人の割合 75.5% 【 R3 79.7% 4.2ポイント減 】



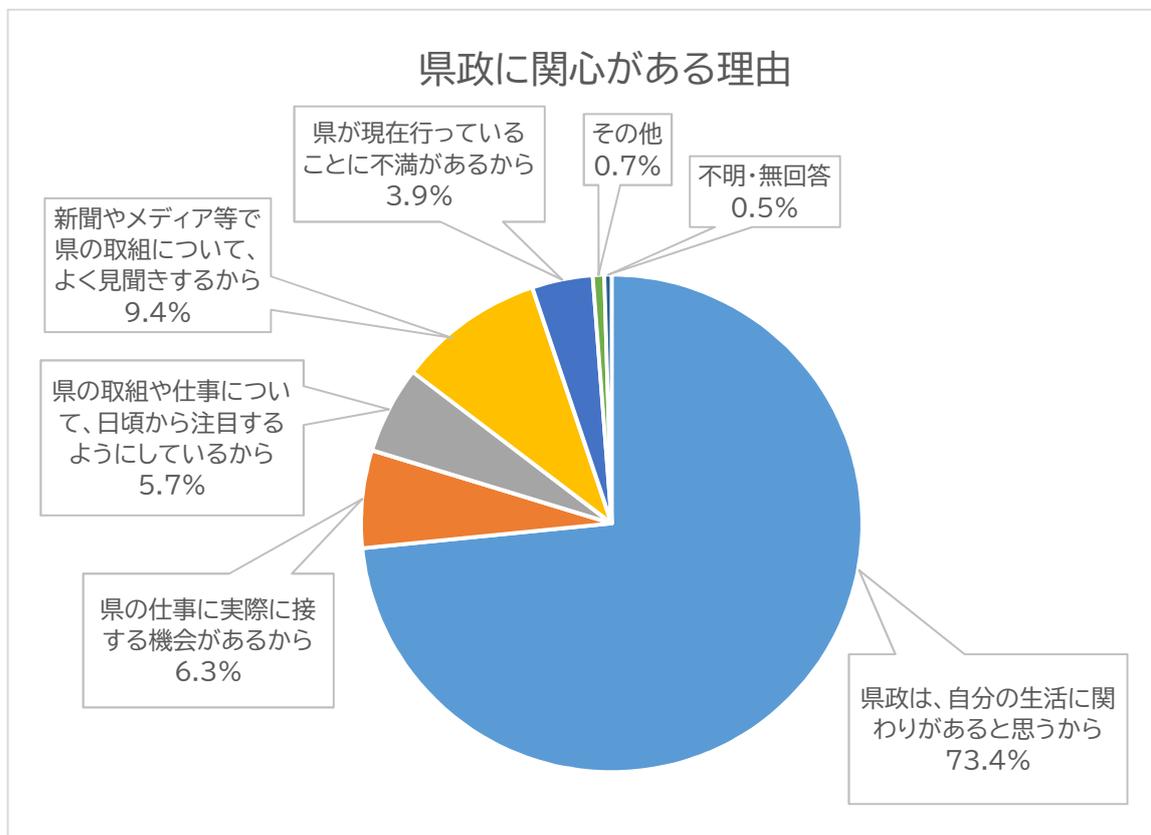
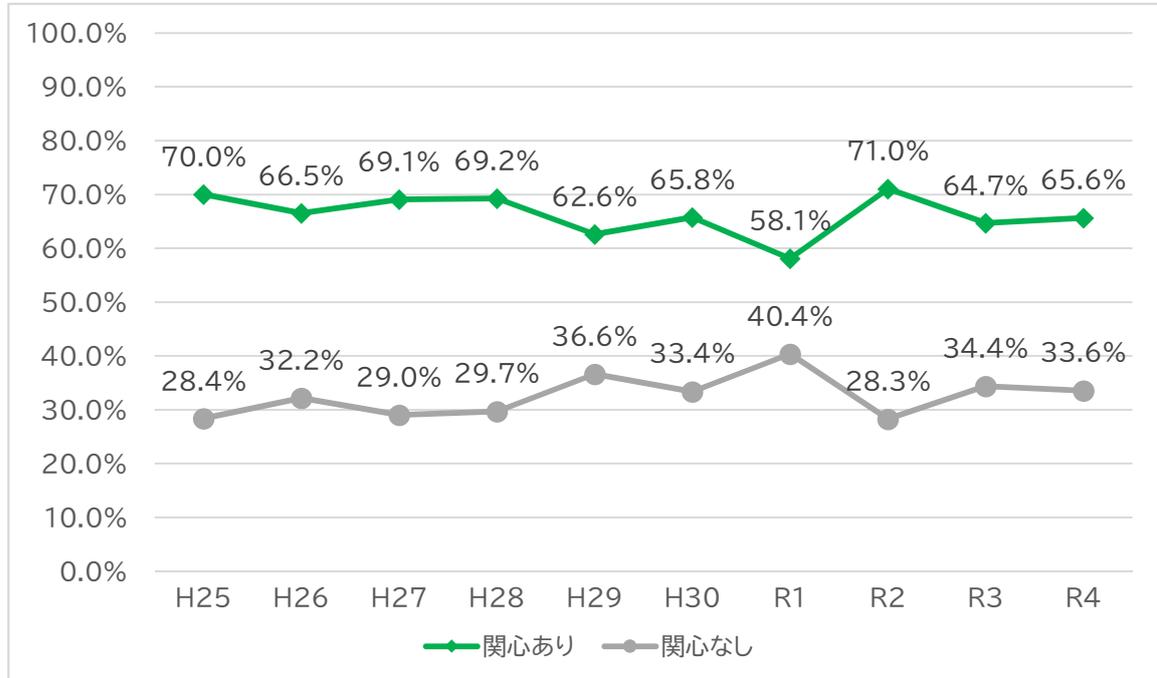
○ 滋賀県に対する誇りの有無

「誇りあり」（「持っている」と「どちらかというを持っている」の合計比率）と答えた人の割合 76.6% 【 R3 77.9% 1.3ポイント減 】



○ 県政への関心度

「関心あり」（「関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計）と答えた人の割合
 65.6% 【 R3 64.7% 0.9ポイント増 】



○県民生活への満足度 <R1年度から県基本構想改定にあわせ項目変更>

各項目についての満足度を「感じる」「どちらかといえば感じる」「どちらかといえば感じない」「感じない」「わからない」の5段階で評価

満足度の高い分野

(「感じる」と「どちらかといえば感じる」を答えた比率)

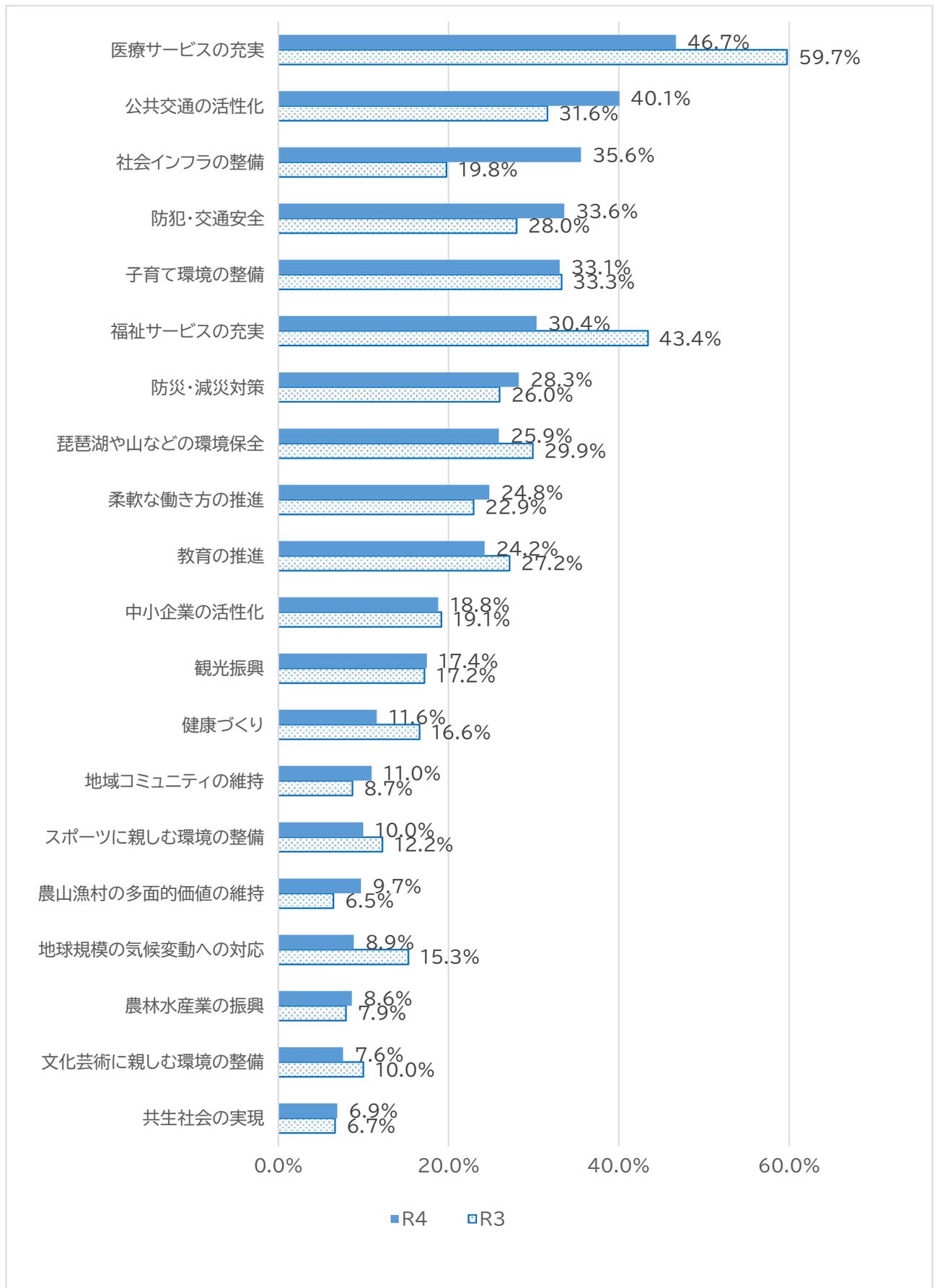
順位	項目	比率	R3比率	R3順位
1	健康的な日常生活を送れていると感じるか	79.7%	87.7%	1
2	犯罪や事故が少なく、安全・安心な生活が送れていると感じるか	72.6%	69.0%	3
3	農山漁村が持つ美しい風景や生活文化が守られていると感じますか	66.2%	60.9%	6
4	必要な医療サービスを利用できる環境が整っていると感じるか	64.7%	75.4%	2
5	琵琶湖や山といった身近な自然や環境が守られていると感じるか	62.4%	67.7%	4

不満度の高い分野

(「感じない」と「どちらかといえば感じない」を答えた比率)

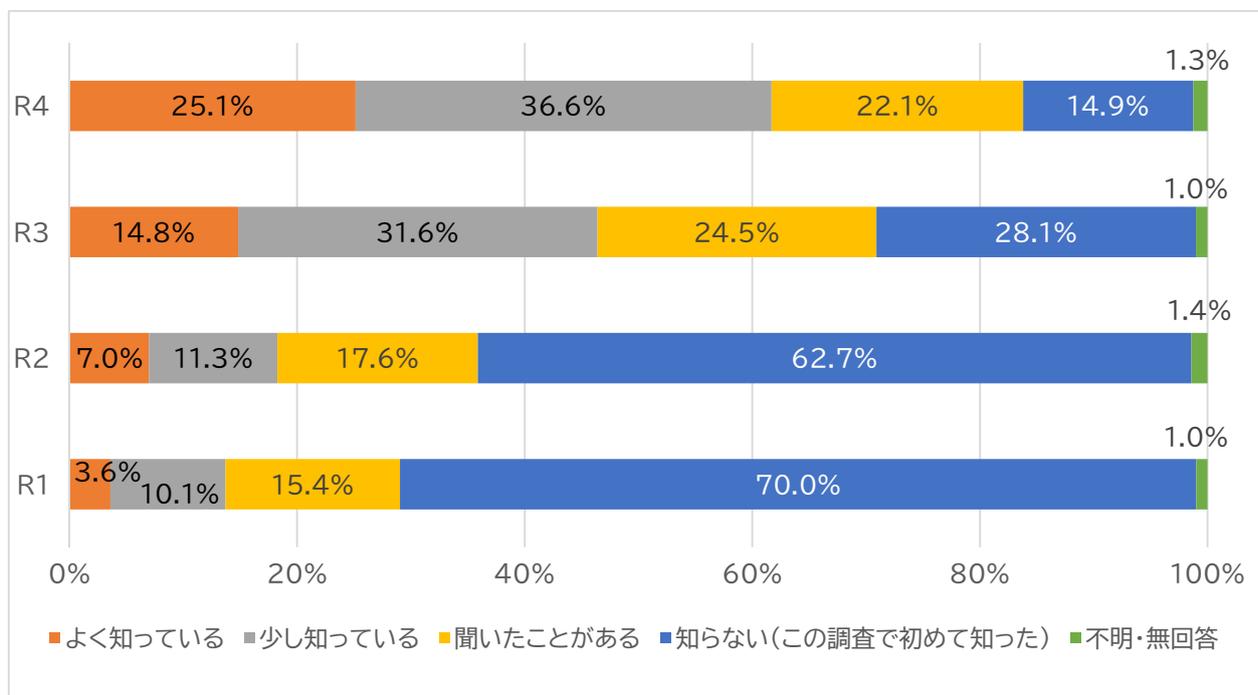
順位	項目	比率	R3比率	R3順位
1	鉄道やバスなどの公共交通が整っていると感じるか	64.7%	67.2%	1
2	地球温暖化などへの対応が進んでいると感じるか	63.1%	57.0%	2
3	滋賀県の魅力が発信されていると感じるか	57.7%	56.8%	3
4	農林水産業に魅力を感じますか	53.2%	46.9%	6
5	災害に対する備えが進んでいると感じるか	53.2%	49.6%	4

○ 力を入れてほしい県の施策(5つ以内で複数回答)



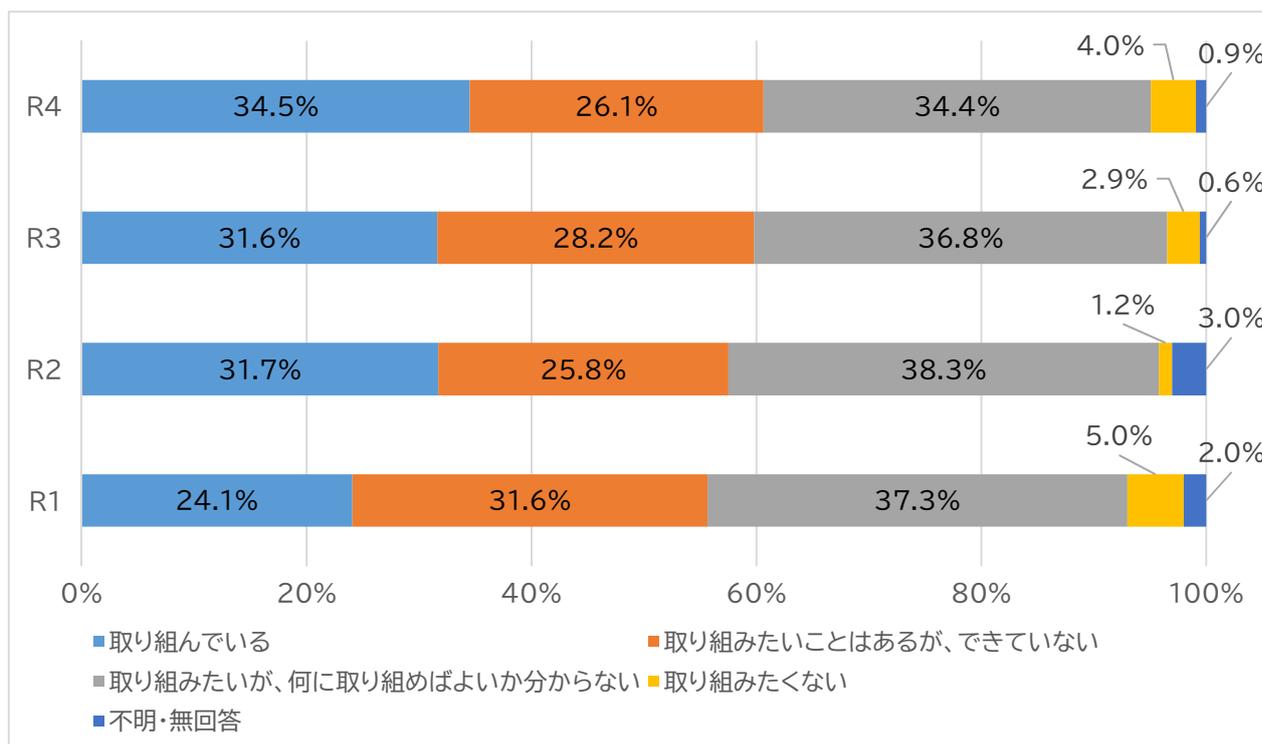
○ SDGsの認知度 <R1年度からの調査項目>

「知っている」「よく知っている」、「少し知っている」、「聞いたことがある」の合計と答えた人の割合 83.8% 【 R3 70.9% 12.9ポイント増 】



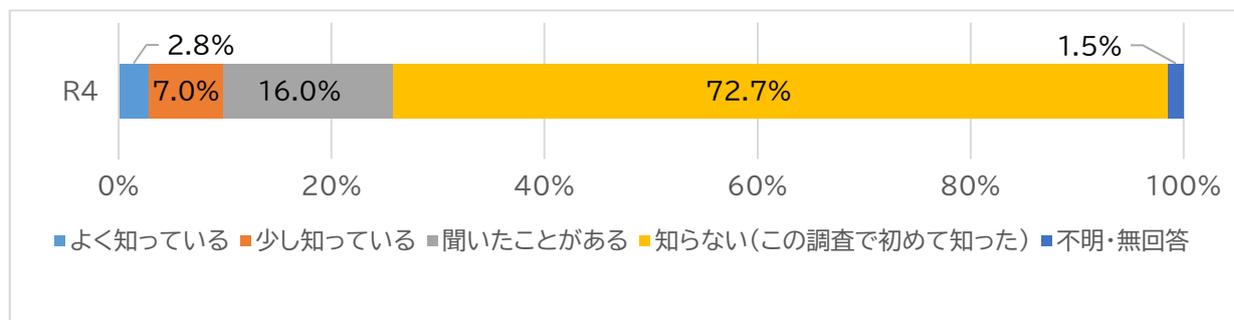
○ SDGsを意識した取組 <R1年度からの調査項目>

「取り組んでいる」と答えた人の割合 34.5% 【 R3 31.6% 2.9ポイント増 】
 ※ 認知度で「よく知っている」、「少し知っている」と答えた人へのみ質問



○ マザーレイクゴールズ(MLGs)の認知度<R4年度からの調査項目>

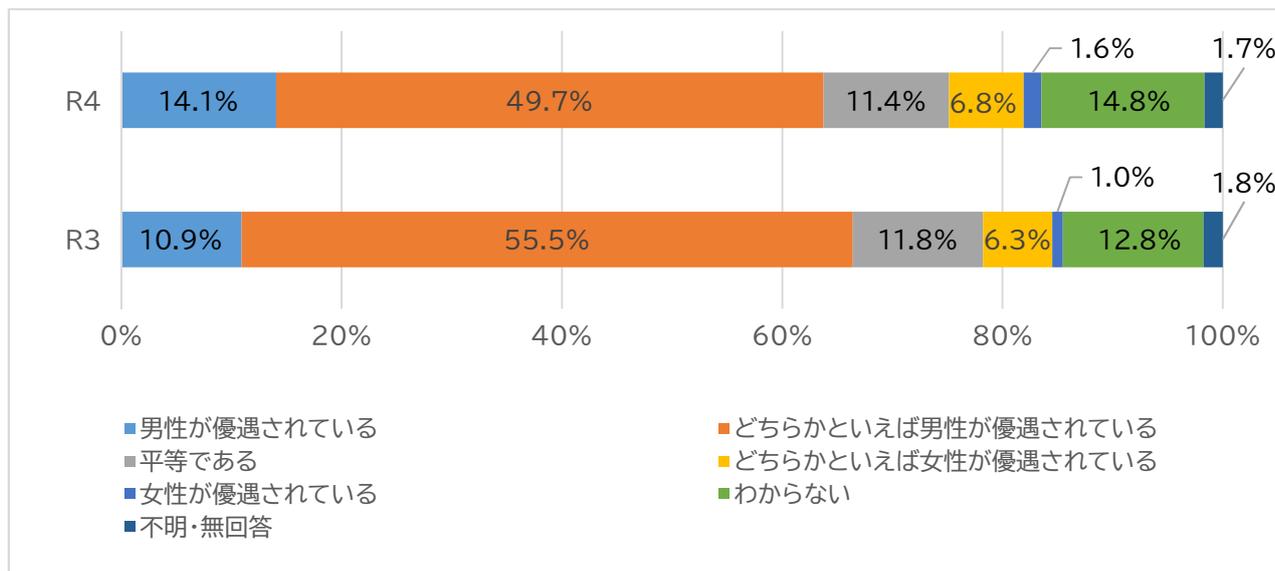
「知っている」(「よく知っている」、「少し知っている」、「聞いたことがある」の合計)と答えた人の割合 25.8%



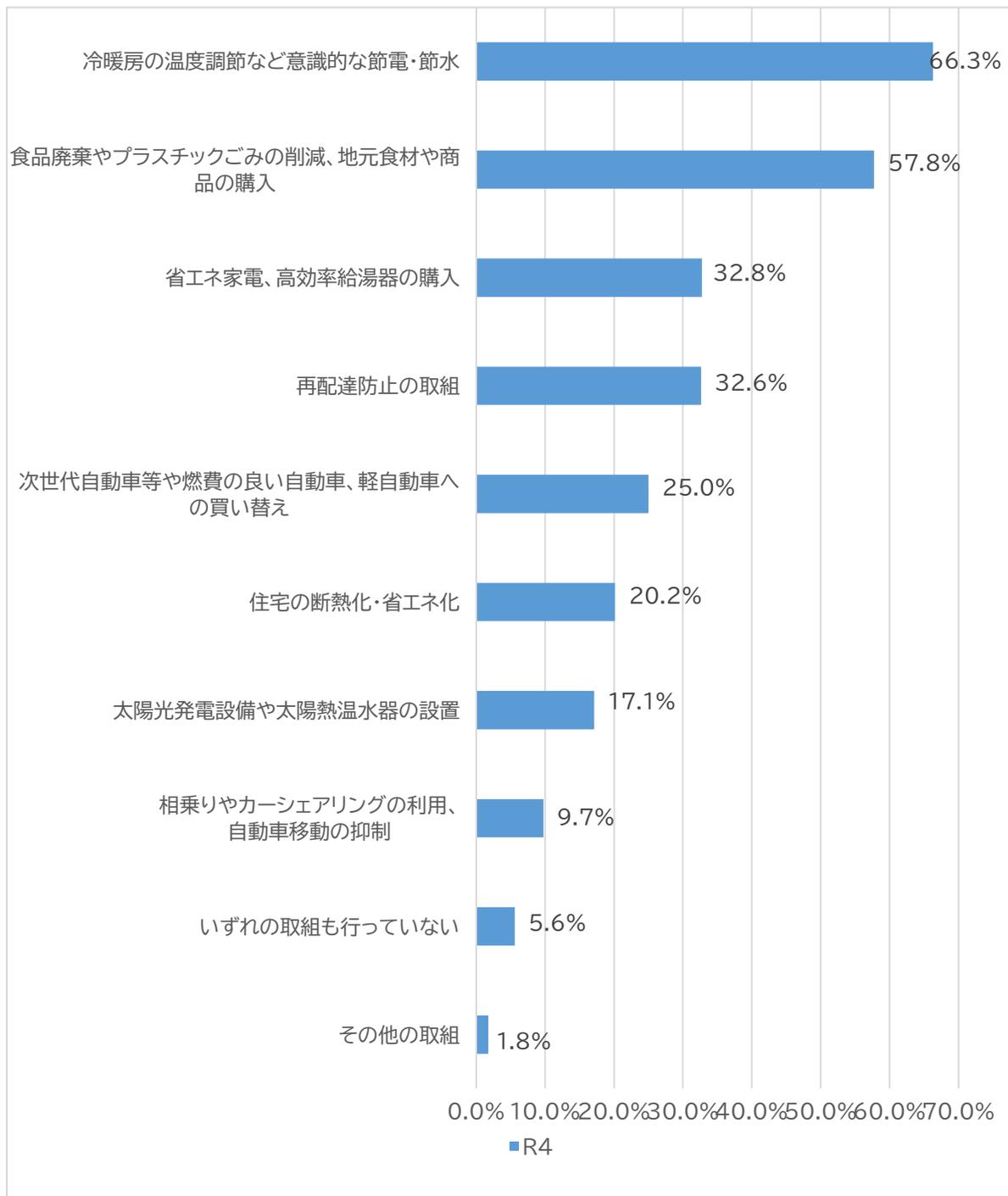
○ 男女の地位の平等感 <R3年度からの調査項目>

(参考:R1~2年度 性別役割分担意識の共感)

社会全体の男女の地位の平等感について、「男性が優遇されている」(「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計)と答えた人の割合 63.8%【 R3 66.4% 2.6ポイント減】 平等であると答えた人の割合 11.4%【 R3 11.8% 0.4ポイント減】

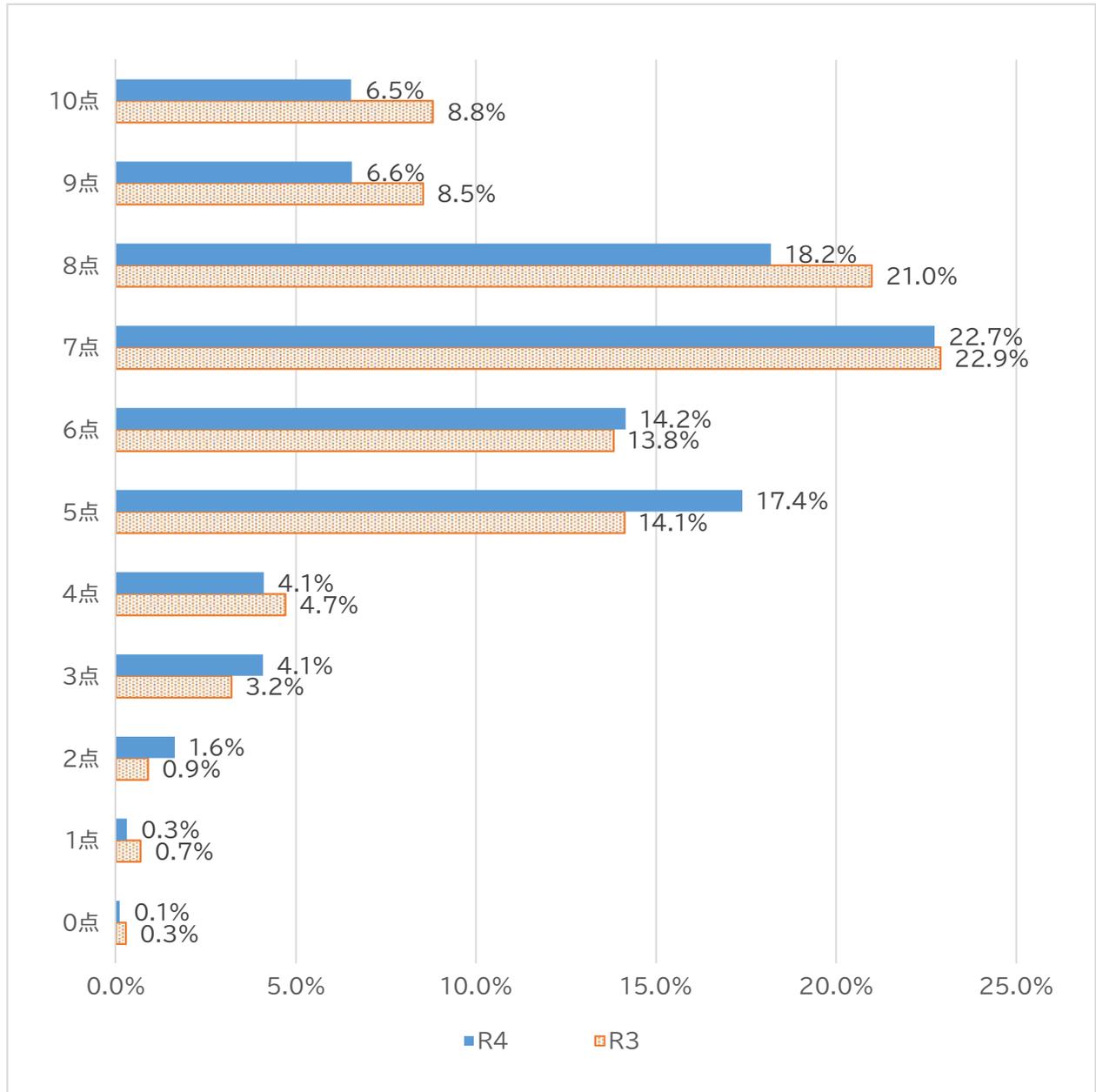


○ CO₂ネットゼロにつながる取り組み<R4年度からの調査項目>



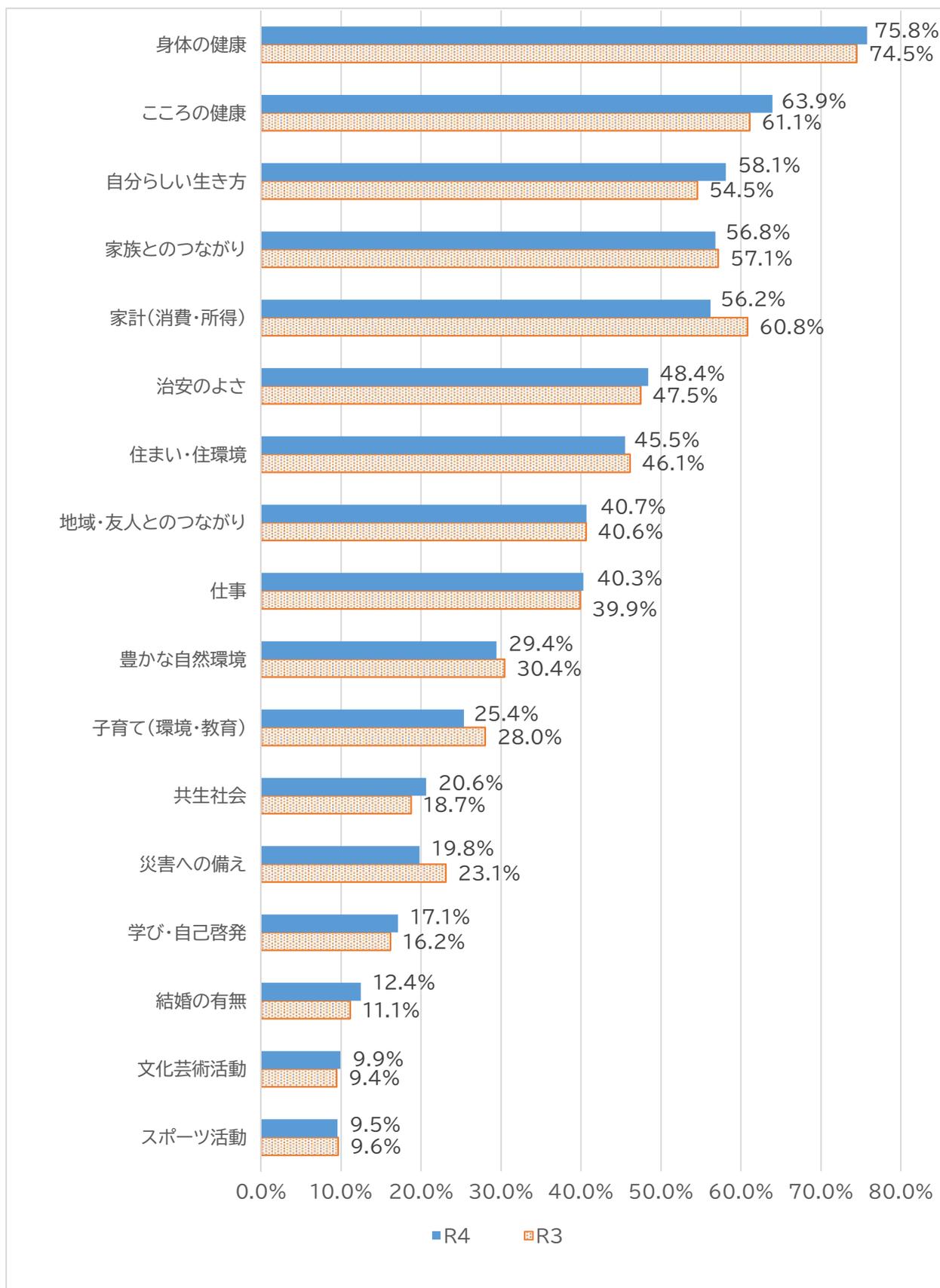
○ 幸福度 <R1年度からの調査項目>

自分が感じている幸せの度合いについて、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると何点
だと思うか 平均:6.61点【 R3 6.85点 0.24ポイント減】



○ 幸せを感じるうえで大切なこと(複数回答)

上問で回答したような幸せを感じるにあたり、大切だと感じることについて



◆ 県政に関する意見（自由記述設問）

815名(回答者の40.1%)の方にご協力いただきました。

※可視化分析中 報告書および県ホームページにて公表予定

4. 今後のスケジュール（予定）

10月中旬 クロス集計も含む報告書公表(報告書配布、県公式ホームページ掲載)